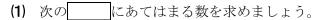
模試の準備をしよう ~ 平面図形の基礎 その1~

長さの単位

よく使われる単位に、「mm、cm、m、km」があるよ。

- 1km=1000m
- 1m=100cm
- 1cm=10mm





km

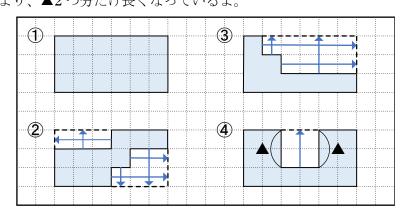
8m= mm

エ 10km= cm



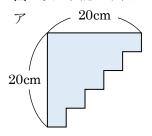
周りの長さを考えてみよう

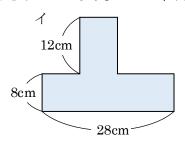
「**直角」**に注目すると、次の①~③の周りの長さがどれも等しいことがわかるね。 ④だけ他より、▲2つ分だけ長くなっているよ。

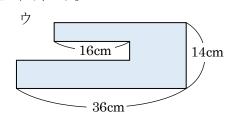




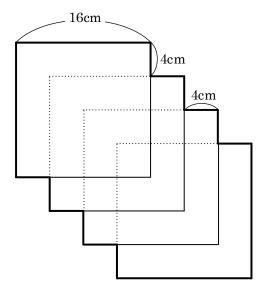
(2) 次の図形の周りの長さを求めましょう。ただし、角は全て直角です。







- (3) 次のア〜エを、長さが長い順に並べましょう。
 - ア 100000mm
 - イ 100000cm
 - ウ 100000m
 - 工 100000km
- (4) 1辺が10cmの正方形があります。この正方形の1辺の長さを2倍にすると、周りの長さは、もとの正方形の何倍になりますか。
- (5) たて 8cm、横 12cm の長方形があります。この長方形のたての長さを 2 倍、横の長さを 2 倍にすると、周りの長さは、もとの長方形の何倍になりますか。
- **(6)** 1辺 16cm の正方形の紙が 4枚あります。これらの紙を次の図のように、たてに 4cm、横に 4cm ずつずらして重ねました。太線の長さは何 cm になりますか。ただし、角は全て直角です。



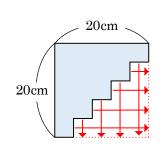
解答

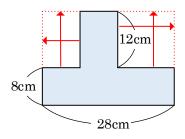
(1) 長さの単位

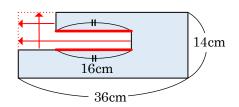
- ア 1cm=10mm です。 $70\div10=7$ より、7cm です。
- イ 1km=1000m です。 150÷1000=0.15より、<u>0.15km</u>です。
- ウ 1m=100cm、1cm=10mm より、 $1m=100\times10=1000(mm)$ です。 $8\times1000=8000$ より、8000mm です。
- エ 1km=1000m、1m=100cm より、1km=1000×100=100000(cm)です。 10×100000=1000000 より、1000000cmです。

(2) 周りの長さ

- ア 右の図のように、辺を移動します。 すると、1 辺 20cm の正方形の周りの 長さと等しくなります。 よって、 $20 \times 4 = 80$ より、80cm と なります。
- イ 右の図のように、辺を移動します。 すると、たてが 8+12=20(cm)、 横 28cm の長方形の周りの長さと 等しくなります。 よって、(20+28)×2=96より、 96cm となります。
- 方の図のように、辺を移動します。
 このとき、太線部分の長さに注意します。
 すると、たて14cm、横36cmの長方形の
 周りの長さに、太線部分の長さの合計となる
 16×2=32(cm)をたした長さとなります。
 (14+36)×2+32=132より、132cmとなります。







(3) 長さの単位

ア〜エの 値 は全て「100000」となっています。そのため、単位が大きいほど長くなることになります。よって、 \underline{x} 、ウ、 \underline{f} 、となります。

(4) 周りの長さ

 $10 \times 4 = 40$ (cm)……もとの正方形の周りの長さ $(10 \times 2) \times 4 = 80$ (cm)……1 辺の長さを 2 倍にした正方形の周りの長さ よって、 $80 \div 40 = 2$ より、2 倍になります。

(5) 周りの長さ

 $(8+12)\times 2=40$ (cm)……もとの長方形の周りの長さ $(8\times 2+12\times 2)\times 2=80$ (cm)……たて、横の長さを 2 倍にした長方形の周りの長さ よって、 $80\div 40=2$ より、2 倍になります。

たての長さ、横の長さを それぞれ2倍にすると、 周りの長さは2倍になるよ。

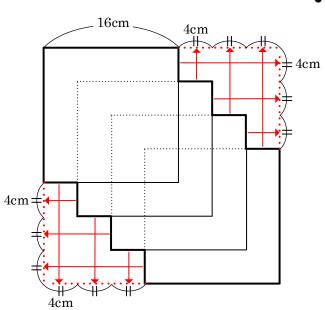


(6) 周りの長さ

右の図のように、4cm の部分を移動 します。

すると、1 辺が $16+4\times3=28$ (cm) の正方形の周りの長さと等しくなる ことがわかります。

よって、 $28 \times 4 = 112$ より、 $\underline{112cm}$ となります。



長さが等しい部分に注目しよう!

